

～新しい職員を紹介します～

既存の店舗スペースを活用して昨年5月10日に「たんぽぽSweets工房」をオープンしました。
それらに伴い5人の新しい職員が仲間入りしましたので紹介します。

①好きな言葉	②最近ハマっていること(推し活)	③村山たんぽぽで頑張りたいこと
 鴻田 友子	① 七転び八起 ② 韓流ドラマの鑑賞	③ 利用者の皆さんと元気に仲良く楽しく作業をしていきたいと思っています。
 佐藤 里美	① ありがとう ② 猫の動画を観ること	③ 利用者さんとお客様から愛されるお菓子を作れるよう頑張っていきたいです。また、感謝の気持ちを忘れず小さな事でもたくさんのありがとうを伝えていきたいです。
 中澤 香菜子	① 好きこそ物の上手なれ ② 手芸	③ 毎日利用者の方と楽しく仕事をする事
 水谷 康代	① 運 (I'll prepare and someday my chance will come.) 準備してこう。チャンスはいつか訪れるものだ。 ② スイーツづくり	③ みんなを元気にする雰囲気づくり
 本山 美恵	① 千里の道も一歩から ② 相撲観戦(テレビでの)	③ スイーツの力で人々に笑顔届けたいです。

『Sweets工房』オープンのお陰で様々な地域イベントに参加することができ、地域との繋がりも深まりました！



3/15・16の『ここまる』に出店しました。

花火大会・元気フェスタ・福祉まつりをはじめ、自治会のお祭りや地域イベントにも数々出店させていただきました。今後も積極的にイベント等に出店していきます。

イオンモールのお正月イベントに参加

村山たんぽぽが地域貢献の一環として、市民から公募してつくり上げた「武蔵村山郷土かるた」を使用してイオンモールむさし村山さんがお正月イベントとして「武蔵村山郷土かるた選手権」を開催されました。開催にあたり、かるたの著作権を持つ当事業所にお声がけいただき、当事業所の利用者と職員の代表で、かるたの読み手と語句の解説と進行を担当させていただきました。

子どもたちが元気になるた取りに興じ、札を取れずに悔し涙をみせる子どももいてとても愛らしく感じました。「武蔵村山郷土かるた」を通して、少しでも武蔵村山の郷土の歴史に触れて少しでも覚えてもらえたとしたら嬉しい限りです。

付き添いの保護者の方で、武蔵村山郷土かるたの解説に興味を持たれた方がおられ、語句の解説の資料を頂けないかのご要望があったので資料を差し上げてきました。



参加した利用者と職員



通常かるたを使用



ジャンボかるたを使用

村山たんぽぽの最近の出来事(event)



秋の日帰り旅行は、まぐろで有名な三浦半島の三崎港でマグロを食し、半潜水式のじいろさかな号に乗船し海の中の魚たちを観察。往復のバス車内ではコロナ明けの久しぶりのカラオケで、みんな盛り上がっていました。



格闘技「修斗」で2階級制覇のチャンピオンの新井丈選手が勝利の報告に来てくれました。



地震を想定した防火・防災訓練を実施しました。工房から出火したことを想定して、避難経路を確認しながらお客様や利用者を安全に避難させられるように訓練を行いました。利用者と職員の消火器訓練も実施しました。